

山口・防府医療圏地域医療構想調整会議（令和5年度第2回）

山口・防府地域保健医療対策協議会（令和5年度第1回）

議事概要

【日 時】 令和5年10月19日（木） 19：00～20：00

【場 所】 オンライン会議

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。
- 第2回病床機能別検討部会合同会議の協議結果の報告を行った。
- 地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、検証を踏まえて行う必要な対応等について合意した。
- 丘病院の対応方針の変更について協議を行い、合意した。

1 第8次山口県保健医療計画素案について

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画素案について説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 山口県感染症予防計画の改定及び医療機関等の協定締結について、医療機関との医療措置協定締結に向けた事前意向調査の結果は、新型コロナウイルスへの医療提供体制の整備を行う上で十分と考えているのか。
⇒ 病床数、発熱外来については十分と考えているが、人材派遣、後方支援については不足していると考えている。引き続き、医療機関へ丁寧に説明して理解をいただき、必要な体制整備を行っていききたい。
- 医療措置協定締結に係る発熱患者の診察人数の基準について、本県では15人とされているが、それは努力目標であり、罰則の適用はないと考えてよいか。
⇒ どのような病態の感染症がまん延するか分からない中で、国からの要請等を踏まえ、診察人数の基準を15人とさせていただいた。新型コロナウイルスがまん延した際に、当該基準を満たさない場合であっても、すぐに罰則が生じるということではなく、病態等に合わせて柔軟に対応することを念頭に協定締結していただきたい。

2 令和4年度病床機能報告結果について

3 地域医療圏構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、令和4年度病床機能報告結果及び令和5年度第1回調整会議で協議・合意した圏域全体の医療提供体制や各医療機関の役割分担の方向性等

を踏まえ、地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、非稼働病棟を持つ医療機関の今後の見通しや圏域の課題を解決するための年度ごとの工程表の策定等について協議し、合意した。

また、検証に併せて、丘病院の対応方針の変更について協議し、合意した。

(主な意見・質問等)

○ 高度急性期の病床数について、2025 プランと必要病床数で大きな乖離があるが、どのように認識しているか。

⇒ 当圏域特有の実情として、県立総合医療センターが全県的な高度専門医療の中核的な役割を担っているため、一定の高度急性期病床の確保は必要であると認識している。その上で、地域の実情を踏まえ、圏域として必要病床数との差異があっても、医療提供体制に課題が生じていないのであれば、問題ないと考えている。